

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8281
担当部課名	管理部	学校施設	課	計画
事務事業名	小学校校舎等整備事業 仮設校舎設置事業		事業コード	14121

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	13年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的 淵野辺東小学校の児童急増に伴い、教室が不足するために仮設校舎を設置した。		(2) 対象(誰、何) 淵野辺東小学校に通学する児童	
		対象数	845人
(3) 平成13年度事業の内容 ・ 淵野辺東小学校への仮設校舎の設置 ・ 規模 約420m ² 4教室 ・ 事業費 仮設校舎賃借料 44,549千円 遊具等移設工事 935千円 アラーム設置委託 84千円		(4) 総合計画・実施計画における概要 学校教育環境の整備 ・ 校舎の増改築	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	必要とする仮設校舎の教室数に対し、設置が済んだ仮設校舎の教室数の割合		
指標式	設置済み仮設教室数 / 必要仮設教室数 × 100		
指標設定の意図	教室不足に対して緊急に対応する。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	100	100	a 100	b 100	100
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	20,540	42,483	45,568	47,200
	人員・時間数	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
	人件費	1,937	1,937	1,937	1,937
	その他経費				
	合計	22,477	44,420	47,505	49,137
特定財源					0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	児童数の急増に伴う仮設教室の設置であり、教室不足の解消については達成ができています。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	教室不足を早急に解消するために不可欠である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	校舎の増築と比較して、経済性については妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市立小学校であるため市で行う必要がある。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	仮設教室の使用が長期にわたると市民から不満の声があがる可能性がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由 :	仮設教室は、教育環境の充実を図る上では有効でないが、教室不足を早急に図る上では有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 児童の急増が継続する場合には、校舎増築についても検討する必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 現状の仮設教室で実施する場合には、コスト改善余地はない。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較		説明 児童数の増加に伴う教室不足に対応するため、この事業は必要である。ただし、教室不足が継続する学校については、本設校舎を増築する必要がある。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--